

保存版

2018年度

松平地域防災カルテ

～九久平小学校区～



「持続可能な松平防災事業」

この事業は松平地域会議の地域予算提案事業です。
松平地域の皆様の防災意識の向上を目的に2017年度から
2021年度までの5か年にわたって様々な取組みを行います。

【九久平小学校区特徴】

〈自治区〉 九久平、鷯ヶ瀬町、中垣内町、桂野町、加茂川町、大内、鍋田、王滝

〈特 徴〉 巴川や県道岡崎足助線(足助街道)沿いを中心に8町で構成されている。
支所、交流館、中学校、高校といった施設があり、松平地域の中心地区となっている。
また、校区内には王滝溪谷や松生嶋といった名所もあり、自然が豊かな地域でもある。
出典：学校基本調査等(平成30年5月1日)

【九久平小学校区データ】

面 積	10.161km ²	
人 口 密 度	298.5人/km ²	
人 口	3,033人	
	男 性	1,528人
	女 性	1,505人
世 帯 数	1,028世帯	
平 均 年 齢	44.10歳	

出典：小学校区別年齢別人口満年齢計算等
(豊田市 平成31年1月1日現在)

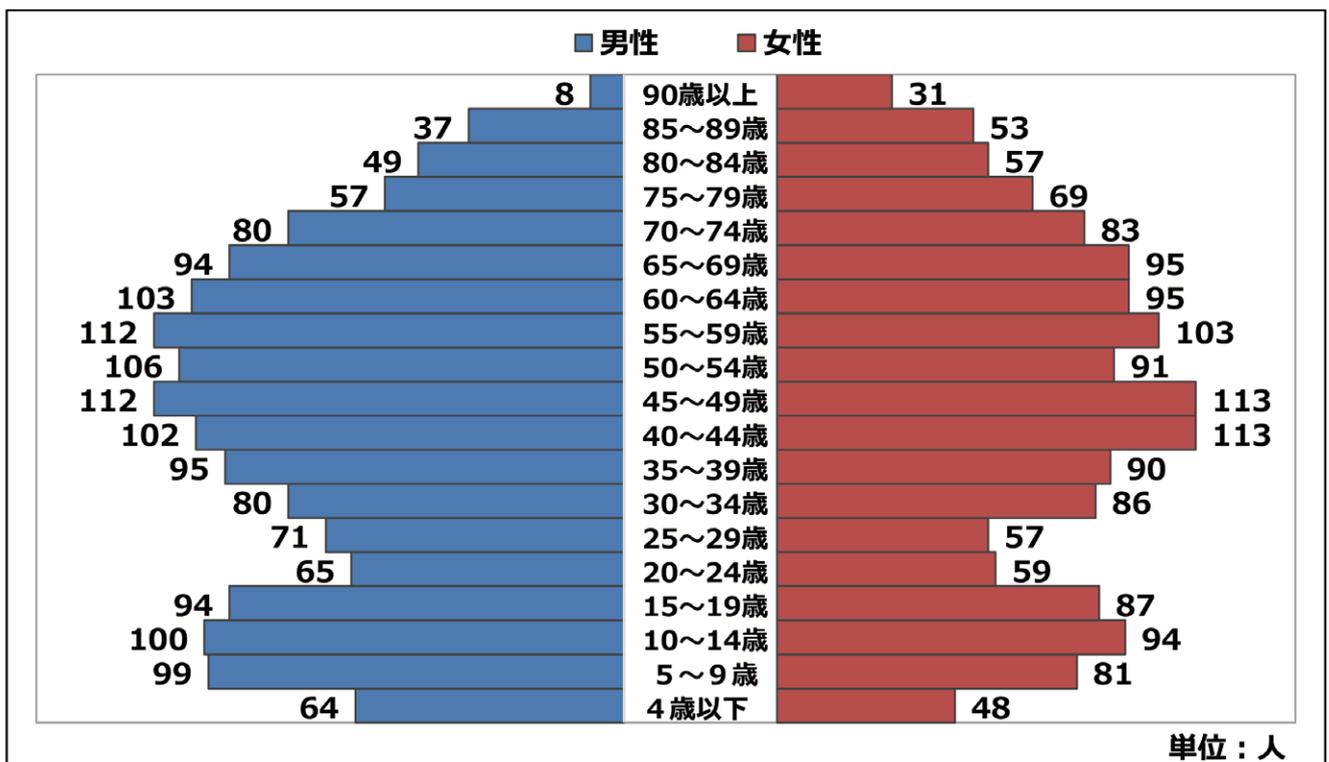


【建物数】

区 分	総 計	昭和56年以降	昭和55年以前
木 造	1,632棟	848棟	784棟
非 木 造	544棟	403棟	141棟

※区分は昭和56年の建築基準法改正前後
出典：豊田市 松平支所 調べ (平成31年2月)

【人口ピラミッド】



出典：小学校区別年齢別人口満年齢計算 (豊田市 平成31年1月1日現在)

【防災関連施設】

避難関連施設 (収容可能人数)		救援・救急関連施設		
緊急避難場所	松平こども園 (270人)	消防署	中消防署松平出張所	
	九久平小学校 (230人)	消防団	第2方面隊第4分団	
	松平高等学校 (530人)	自主防災組織	8団体	
避難所	松平こども園 (270人)	医療機関	おぎの歯科医院	
	九久平小学校 (230人) 松平高等学校 (530人)	警察・交番・駐在所	王滝駐在所	
広域避難地	—	防災・水防倉庫	松平地区防災倉庫 松平交流館防災倉庫 九久平小学校防災用倉庫 松平中学校防災用倉庫 松平水防倉庫	
福祉避難所	松平コミュニティセンター		AED 設置場所	松平交流館 松平中学校 九久平小学校 松平こども園 コメジ・ソシオ (株) 登里公
こども園・幼稚園	松平こども園			
公園・広場	九久平ちびっこ広場 九久平団地ちびっこ広場 九久平町ふれあい広場 鶴ヶ瀬ちびっこ広場 鶴ヶ瀬第2ちびっこ広場 鶴ヶ瀬沢ちびっこ広場 中垣内第1ちびっこ広場 中垣内ふれあい広場 桂野町ちびっこ広場 加茂川町ちびっこ広場 大内町ちびっこ広場 鍋田町ちびっこ広場			

出典：豊田市 松平支所 調べ (平成31年2月)

【被害予測結果】

理論上最大想定モデル(冬の夕方に発災したとき)

〈前提条件〉 地震想定：南海トラフで発生する恐れのある地震のうちあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震

地震規模：M9.0

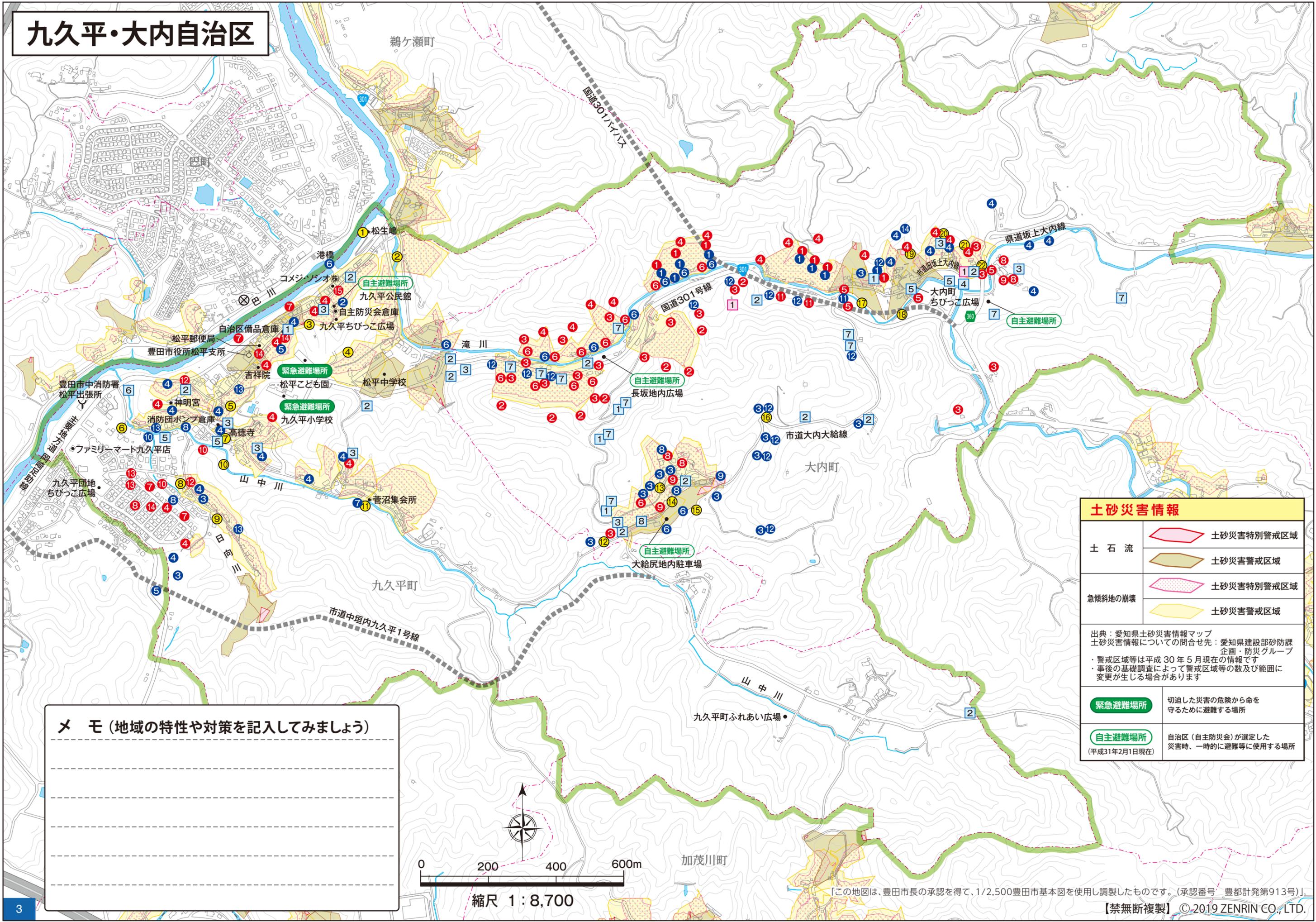
最大震度：震度6強(市南西部の多く)

被害項目		被害数	合計		
建物被害	全壊	揺れ	1棟	5棟	
		液状化	0棟		
		急傾斜地	4棟		
		火災	0棟		
建物被害	半壊	揺れ	11棟	20棟	
		液状化	0棟		
		急傾斜地	9棟		
人的被害	死者数	建物倒壊等	0人	0人	
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	(0人)		
		急傾斜地崩壊等	0人		
		火災	0人		
	人的被害	重傷者数	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	0人	0人
			建物倒壊等	0人	
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	(0人)	
			急傾斜地崩壊等	0人	
	人的被害	軽傷者数	火災	0人	1人
			建物倒壊等	1人	
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	(0人)	
			急傾斜地崩壊等	0人	
人的被害	軽傷者数	火災	0人	0人	
		ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	0人		
		建物倒壊等	1人		
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	(0人)		

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

出典：豊田市地震被害予測結果報告書(豊田市 平成27年3月)

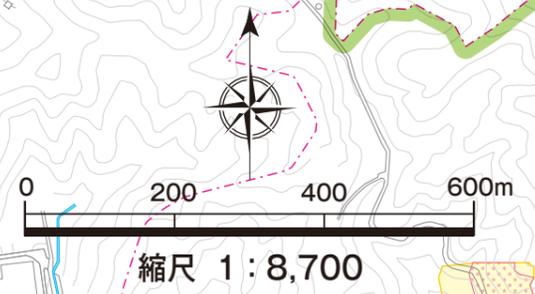
九久平・大内自治区



土砂災害情報	
土石流	土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩壊	土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域
緊急避難場所	切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所
自主避難場所	自治区（自主防災会）が選定した災害時、一時的に避難等に使用する場所（平成31年2月1日現在）

出典：愛知県土砂災害情報マップ
 土砂災害情報についての問合せ先：愛知県建設部砂防課
 企画・防災グループ
 ・警戒区域等は平成30年5月現在の情報です
 ・事後の基礎調査によって警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります

✕ モ (地域の特性や対策を記入してみましょう)



【この地図は、豊田市長の承認を得て、1/2,500豊田市基本図を使用し調製したものです。(承認番号 豊都計発第913号)】

凡 例

九久平・大内自治区

風 水 害			地 震		
過去災害		ポイント数	過去災害		ポイント数
1	落石	5	1	鳥居(神社)の崩壊	2
2	土砂崩れ	13			
3	がけ崩れ	8			
4	増水	1			
5	冠水	4			
6	川の氾濫	1			
7	倒木	11			
8	竜巻	1			
危険箇所		ポイント数	危険箇所		ポイント数
1	落石	8	1	落石	7
2	山崩れ	1	2	山崩れ	8
3	土砂崩れ	14	3	土砂崩れ	18
4	がけ崩れ	18	4	がけ崩れ	23
5	土石流	2	5	橋が流される	4
6	増水	10	6	岩(石)の崩落	12
7	冠水	1	7	法面(のりめん)の崩れ	4
8	浸水	4	8	家屋倒壊	5
9	濁流	1	9	石垣の倒壊	3
10	川の合流地点	1	10	がれきによる川のせき止め	2
11	橋が流される	1	11	倒木	2
12	倒木	13	12	道路分断	2
13	道路分断	3	13	住宅の密集地	2
14	砂防ダムの崩壊	1	14	住宅火災	3
			15	燃料保管庫	1

現地踏査情報 (2017年度事業)

1	対岸より低いものの溢れない	12	台風の被害
2	家が一軒ある	13	東海豪雨で流れて応急措置
3	岩が落ちる恐れ	14	イノシシが掘って崩れやすくなっており側溝が埋まる恐れ
4	対策予定	15	15~16年前からイノシシが増加
5	崩れたことがある	16	台風の被害
6	巴川からの逆流	17	氾濫はまだない
7	7年前に崩れた	18	砂が堆積
8	道路上への落下危険性	19	イノシシの被害
9	急傾斜地のため災害の際には田んぼを歩く	20	マツなので根浅だが強風を遮る機能あり
10	イノシシが掘って低くなる	21	崩れたことがある
11	崩れている	22	砂地のため崩れる恐れ

強み

コミュニケーション : 15 地理的特性 : 13 食料・水 : 11

地域の結束が強い 14	水が豊富にある 6	地盤が固い 3	家と家が近く連絡が取りやすい 2	食料がある 7
自治区メールがある 1	過去に大きな被害が少ない 1	避難所が近い 1		井戸水が利用できる 4
消防署が近い 2	燃料の備蓄がある 3	工具機材を自前で持っている 3	発電機がある 2	若い人が多い 1
トイレはあまり困らない 1	ガスボンベで煮炊きができる 2	屋敷が大きい 1		人員・人口構成 : 1

インフラ整備 : 3 道具・生活用品 : 11

弱み

地理的特性 : 25 インフラ整備 : 10

高齢者が多い 11	土砂崩れが心配 6	道路寸断の恐れがある 5	スーパーが少ない・遠い 4	道路が狭い 6
人口が少ない 3	家が古い 2	逃げ道が少ない 2	岩が多い 1	避難場所が狭い 2
子どもが少ない 2	川が狭い 1	山が多い 1	裏に山をかかえている家が多い 1	公共トイレがない 1
医者がいない 1	家の倒壊の恐れ 1	瓦が落ちる 1	家具が倒れる 1	空家が多い 1

人員・人口構成 : 17 道具・生活用品 : 1

備えるもの

飲料・水 : 12 食料の確保 : 8 道具・生活用品 : 12

飲料・水 12	食料の確保 8	発電機 3	簡易トイレ 1	トイレ 1
米 1	非常食 1	毛布 1	携帯電話 1	ラジオの用意 1
	電池 1	軍手 1	釜戸 1	燃料 1

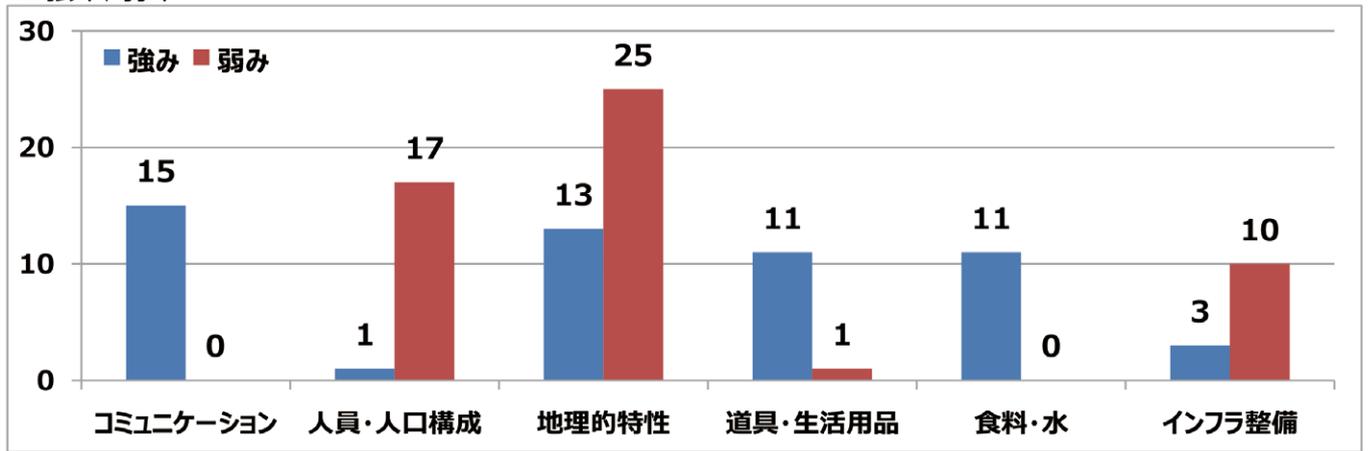
食料・水 : 22

やるべき対策

家族でできる対策 : 8 行政の協力が必要な対策 : 5 地域で行う対策 : 10

家族での話し合い 3	転倒防止対策 1	耐震対策 1	間伐処理 2	ヘリポートの設置 1
非常食を備えておく 1	防災グッズをわかりやすい所に置いておく 1	避難経路を覚えておく 1	水路の整備 1	消火栓を増やす 1
連絡体制を明確にする 2	高齢者マップの作成 2	避難訓練の定期実施 2		
高齢者の話を聞く場を作る 2	周囲の人への声かけ 1	石垣の補強 1		

■ 強み、弱み



地域の結束が強いというコミュニケーションを強みと捉え、土砂崩れが心配、道路寸断の恐れがあるといった地理的特性を弱みと感じている人が多い。また、水が豊富にあるという地理的特性や、食料・水、道具・生活用品が揃っていることを強みと感じている一方で、高齢者が多い、人口が少ないという人員・人口構成や、道路が狭い、避難場所が狭いというインフラ整備を弱みと感じている人もいる。

■ 備えるもの、やるべき対策

項目種類	項目	具体意見	意見数
備えるもの	道具・生活用品	発電機、簡易トイレ	12
	食料・水	飲料・水、食料の確保	22
	インフラ整備	—	0
やるべき対策	家族でできる対策	家族での話し合い、転倒防止対策	8
	地域で行う対策	連絡体制を明確にする、高齢者マップの作成	10
	行政の協力が必要な対策	間伐処理、ヘリポートの設置	5

備えるもの

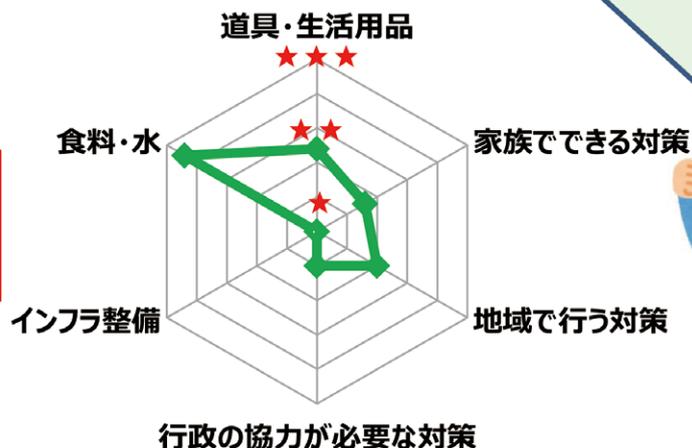
- ・ 水や食料を十分に確保しておく。自治区だけでなく、各家庭でも備えが必要。
- ・ トイレの確保が必要となるため、いざという時の簡易トイレの備えが必要。
- ・ 停電等に備え、発電機を確保する。
- ・ 釜戸など炊き出しの設備を準備しておく。
- ・ ラジオ・携帯電話・電池・軍手などを備えておく。

やるべき対策

- ・ 連絡網が受信用メールになっているので、一方通行にならないようにする。
- ・ 年配の人でもわかるマップを作る。
- ・ 避難訓練を重ねる。
- ・ 家族で防災について話し合い、逃げ道を普段から把握しておく。
- ・ 間伐や草取りを行う。(斜面の強化)
- ・ 家の耐震対策を行う。
- ・ 防災グッズを取りやすいところに置く。



重要だと考える人
 ★★★ ★★ ★
 多い ⇔ 少ない



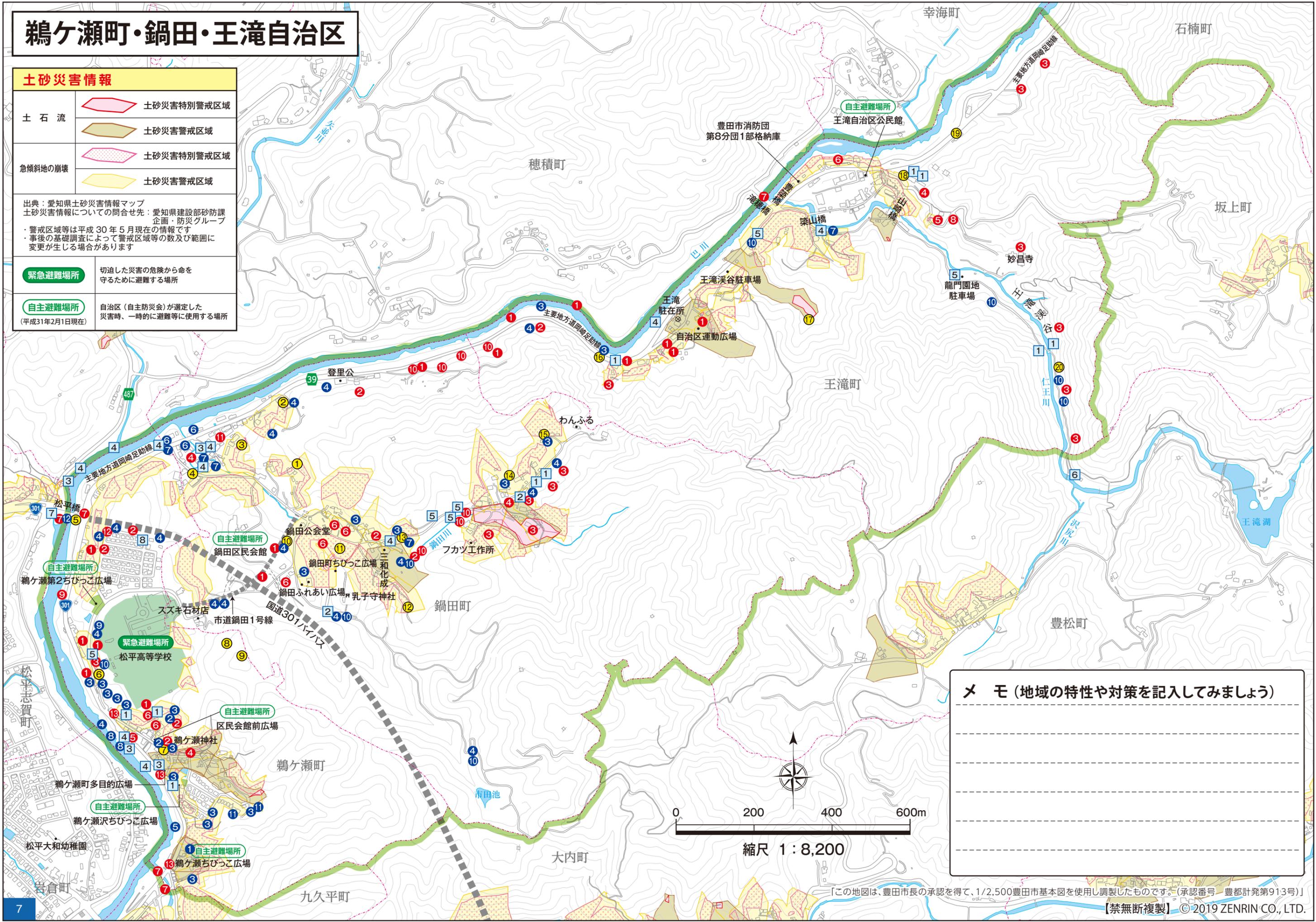
鵜ヶ瀬町・鍋田・王滝自治区

土砂災害情報

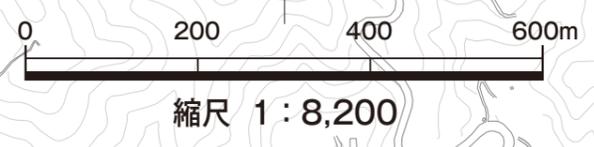
土石流		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩壊		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域

出典：愛知県土砂災害情報マップ
土砂災害情報についての問合せ先：愛知県建設部砂防課
企画・防災グループ
・警戒区域等は平成30年5月現在の情報です
・事後の基礎調査によって警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります

緊急避難場所	切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所
自主避難場所 (平成31年2月1日現在)	自治区(自主防災会)が選定した災害時、一時的に避難等に使用する場所



✕ モ (地域の特性や対策を記入してみましょう)



【この地図は、豊田市長の承認を得て、1/2,500豊田市基本図を使用し調製したものです。(承認番号 豊都計発第913号)】

凡 例

鵜ヶ瀬町・鍋田・王滝自治区

風 水 害			地 震		
過去災害		ポイント数	過去災害		ポイント数
1	土砂崩れ	10			
2	がけ崩れ	2			
3	冠水	4			
4	浸水	10			
5	倒木	6			
6	家屋倒壊	1			
7	流木による橋梁破壊	1			
8	屋根が飛んだ	1			
危険箇所		ポイント数	危険箇所		ポイント数
1	落石	1	1	土砂崩れ	15
2	山崩れ	2	2	がけ崩れ	8
3	土砂崩れ	19	3	岩(石)の崩落	13
4	がけ崩れ	17	4	石垣の倒壊	5
5	増水	1	5	ブロック塀が倒れる	2
6	冠水	3	6	建物崩壊	7
7	浸水	5	7	橋が落ちる	5
8	道路冠水	2	8	道路の崩落	1
9	道路分断	1	9	道路陥没	1
10	倒木	8	10	倒木	7
11	家屋倒壊	2	11	住宅の密集地	1
12	流木による橋梁破壊	1	12	燃料保管庫	1
			13	自販機が倒れる	3

現地踏査情報（2017年度事業）

1	対策済	11	かつて二度崩れたことがあり道路まで影響
2	未対策	12	対策済
3	対策済	13	対策済
4	昔は床上まで冠水6年前に畑が冠水	14	対策済
5	6年前に桁下まで冠水	15	対策済
6	ブロックの境目で落石のため補修	16	土砂が道路に流出した(県が土嚢を積んだ)
7	11月に応急処置(災害きっかけではない)	17	耕作放棄地
8	擁壁整備済	18	伊勢湾台風とS54が55年頃に土砂崩れで道を塞いだ
9	水の流れがあり10年前に陥没	19	ヒューム管の下から水が流れ空洞化(県に連絡済み)
10	土がえぐれているが最近土は落ちていない	20	大雨などではなく突如大きな岩が崩れ道を塞いだ

・人命に関わる災害は起こっていない

強み

地理特性 : 10

- 地域の結束が強い (11)
- 避難所が近い (5)
- 地盤が強い (2)
- 過去の経験を持っている人がいる (3)
- 自治区として食料備蓄がある (3)
- 避難訓練をしている (1)
- 新耐震基準の家が多い (2)
- 川があって水が豊富にある (1)
- 住宅地に若い人が多い (3)
- 井戸がある (2)
- ソーラー発電の家が多い (2)
- 発電機を持っている (2)
- ほとんどの家に車がある (1)
- ヘリポートがある (1)
- 浄化槽なのでトイレには困らない (1)
- 雑木を使って炊き火ができる (1)
- 道具・生活用品 : 7
- インフラ整備 : 1
- 食料・水 : 5
- コミュニケーション : 12

弱み

インフラ整備 : 8

- 高齢者が多い (8)
- 道路が少ない・狭い (5)
- 公共トイレがない (1)
- 食料の備蓄がない (3)
- 連絡網が不十分 (1)
- 昼間人口が少ない (1)
- 移動手段が車しかない (1)
- 街路灯が少ない (1)
- 水の備蓄がない (1)
- 転入者は地区のことを知らない (1)
- 孤立しやすい (4)
- 急傾斜地が多い (4)
- 道路が分断しそう (2)
- 木が倒れやすい (1)
- オール電化の家が増加中 (2)
- 石垣が高い (1)
- 隣同士が離れている (1)
- 店が遠い (1)
- 停電や断水の可能性がある (1)
- 道具・生活用品 : 2
- 地理的特性 : 15
- 食料・水 : 4
- コミュニケーション : 2
- 人員・人口構成 : 9

備えるもの

道具・生活用品 : 43

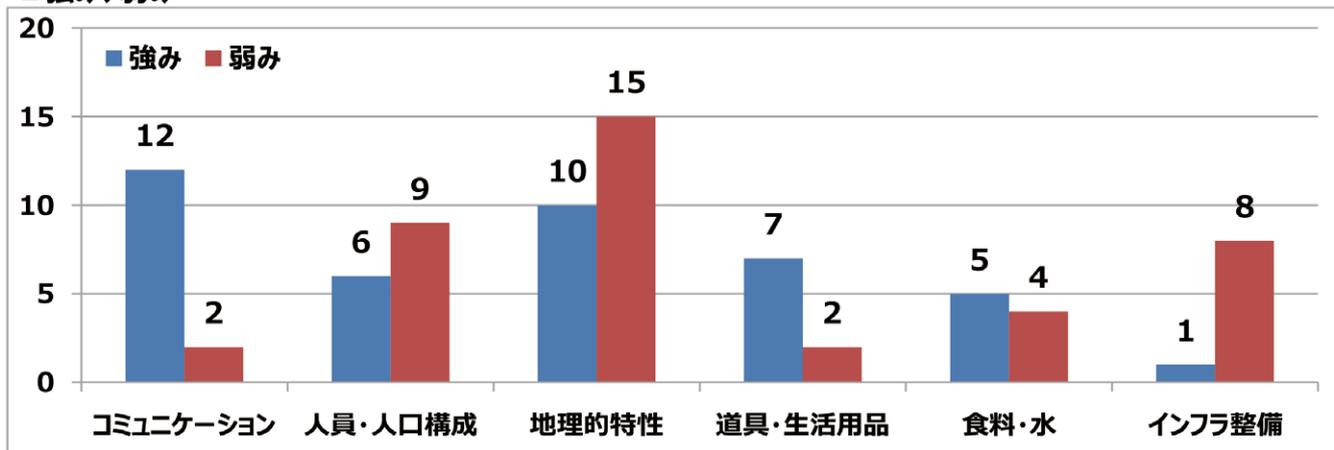
- 食料 (16)
- 水 (13)
- 燃料 (ガソリン・LPガス) (4)
- 非常持出袋の常備 (3)
- 簡易トイレ (2)
- 発電機 (2)
- 転倒防止用品 (2)
- スリッパ (履物) (1)
- スコップ (1)
- 消火器・火災報知機 (1)
- 電池 (1)
- 防寒・暑さ対策用品 (1)
- 薬 (1)
- タオル (1)
- 食料・水 : 20

やるべき対策

家族でできる対策 : 14

- 避難経路・避難場所の確認 (7)
- 家族との連絡方法の確認 (2)
- 非常食の備え (2)
- 転倒防止対策 (1)
- 耐震補強 (1)
- 家庭内での備蓄品の準備 (1)
- 避難所の運営方法の再確認 (2)
- 自治区の備蓄品情報の共有化 (2)
- 危険箇所の把握 (1)
- 高齢者の救助方法 (1)
- 組内での役割分担 (1)
- 防災計画の見直し (1)
- 樹木伐採 (1)
- 街路灯を増やす (1)
- 行政の協力が必要な対策 : 2

■ 強み、弱み



地域の結束が強いというコミュニケーションは強みだが、孤立しやすい、急傾斜地が多いといった地理的特性や、道路が少ない・狭いといったインフラ整備に弱みを感じている人が多い。

また、人員・人口構成については、過去の経験を持っている人がいる、住宅地に若い人が多いという点で強みと感じている人がいる一方、高齢者が多い、昼間人口が少ないという点で弱みと感じている人もいます。

■ 備えるもの、やるべき対策

項目種類	項目	具体意見	意見数
備えるもの	道具・生活用品	燃料（ガソリン・LPガス）	20
	食料・水	食料、飲料水	29
	インフラ整備	—	0
やるべき対策	家族でできる対策	避難経路・避難場所の確認	14
	地域で行う対策	避難所の運営方法の再確認	8
	行政の協力が必要な対策	樹木伐採、街路灯を増やす	2

備えるもの

- ・ 自治区だけでなく、各家庭でも水や食料の備蓄を行う必要がある。
- ・ 燃料(ガソリン・LPガス)の確保もしておく必要がある。
- ・ 非常持出袋の常備、簡易トイレや、薬の準備をする。
- ・ 発電機や、消火器、火災報知機なども備える。
- ・ 転倒防止用品や、防寒・暑さ対策用品も必要。

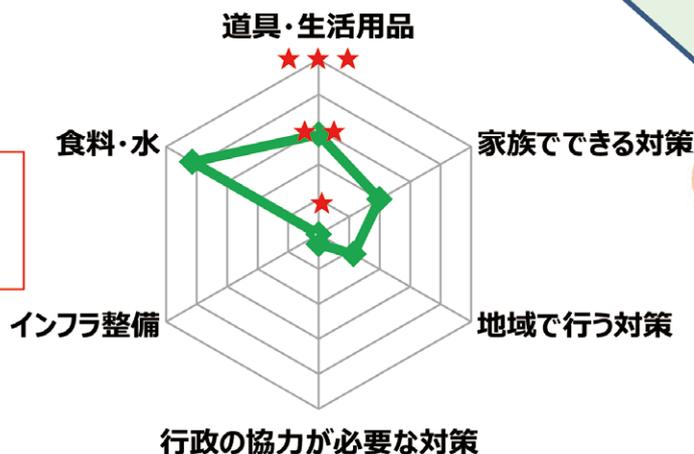
やるべき対策

- ・ 避難経路、避難場所をしっかりと確認しておく。
- ・ 自治区の備蓄倉庫にある備蓄情報・場所の共有。
- ・ バイパス開通により地形が変わったため、暴風対策が必要。
- ・ 災害時の連絡方法を家族単位や自治区単位で話合っ決めておく。
- ・ 避難所の運営方法を再確認する。



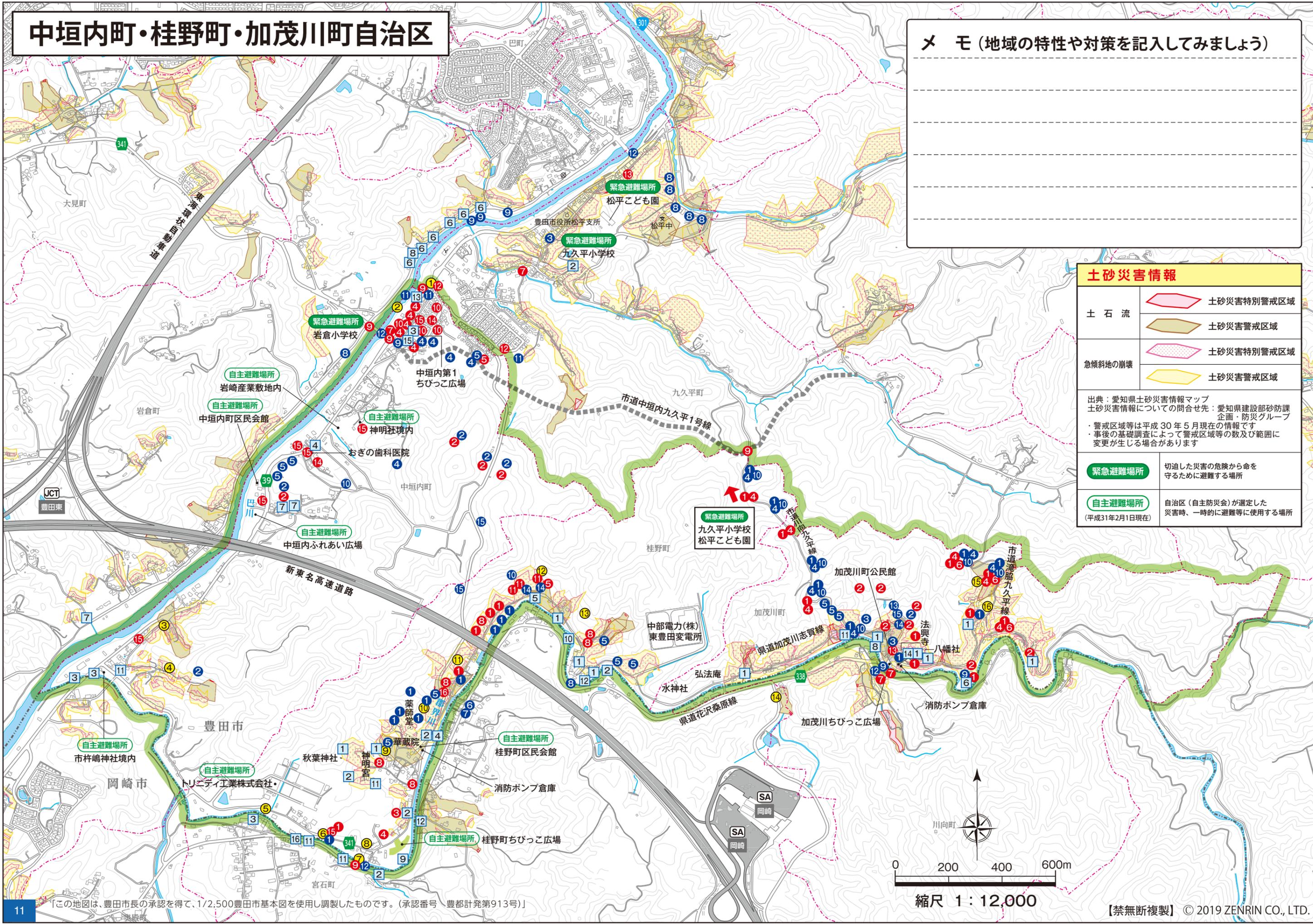
重要だと考える人

★★★★ ★★ ★
 多い ⇔ 少ない



中垣内町・桂野町・加茂川町自治区

× 毛 (地域の特性や対策を記入してみましょう)



土砂災害情報

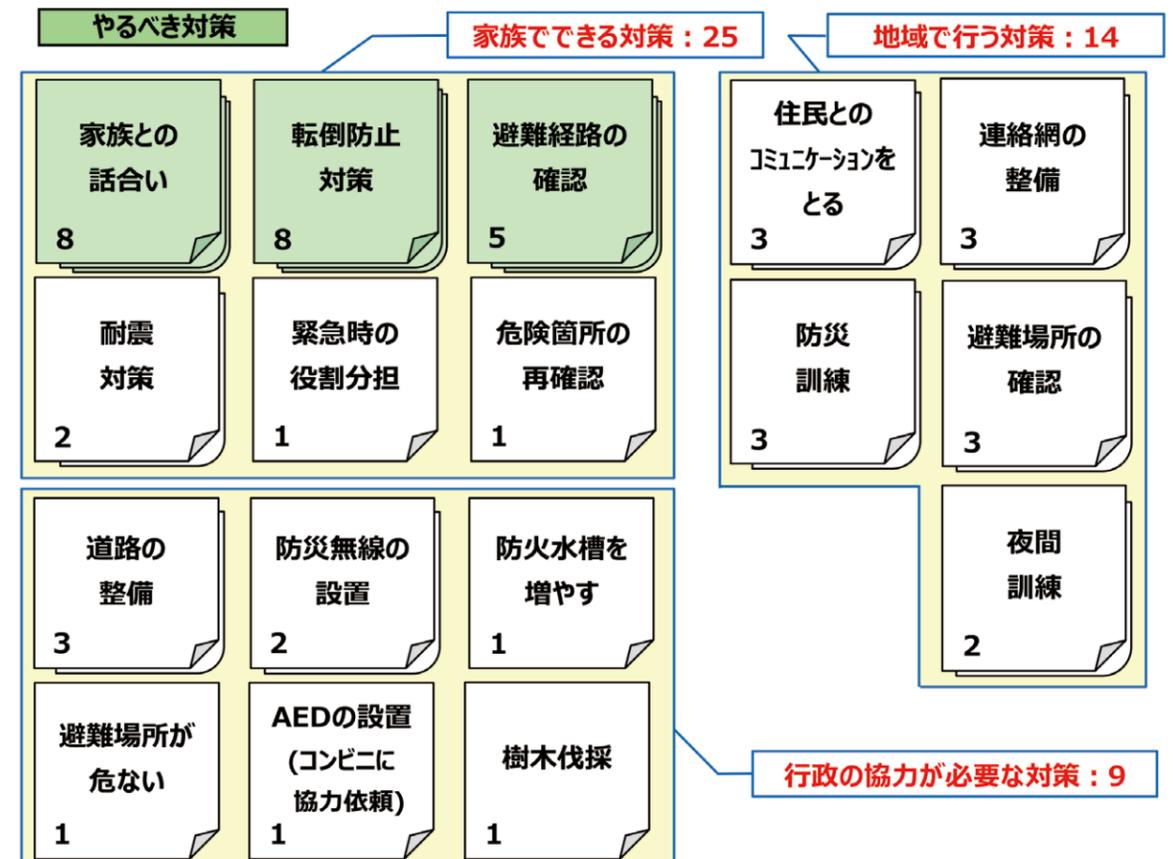
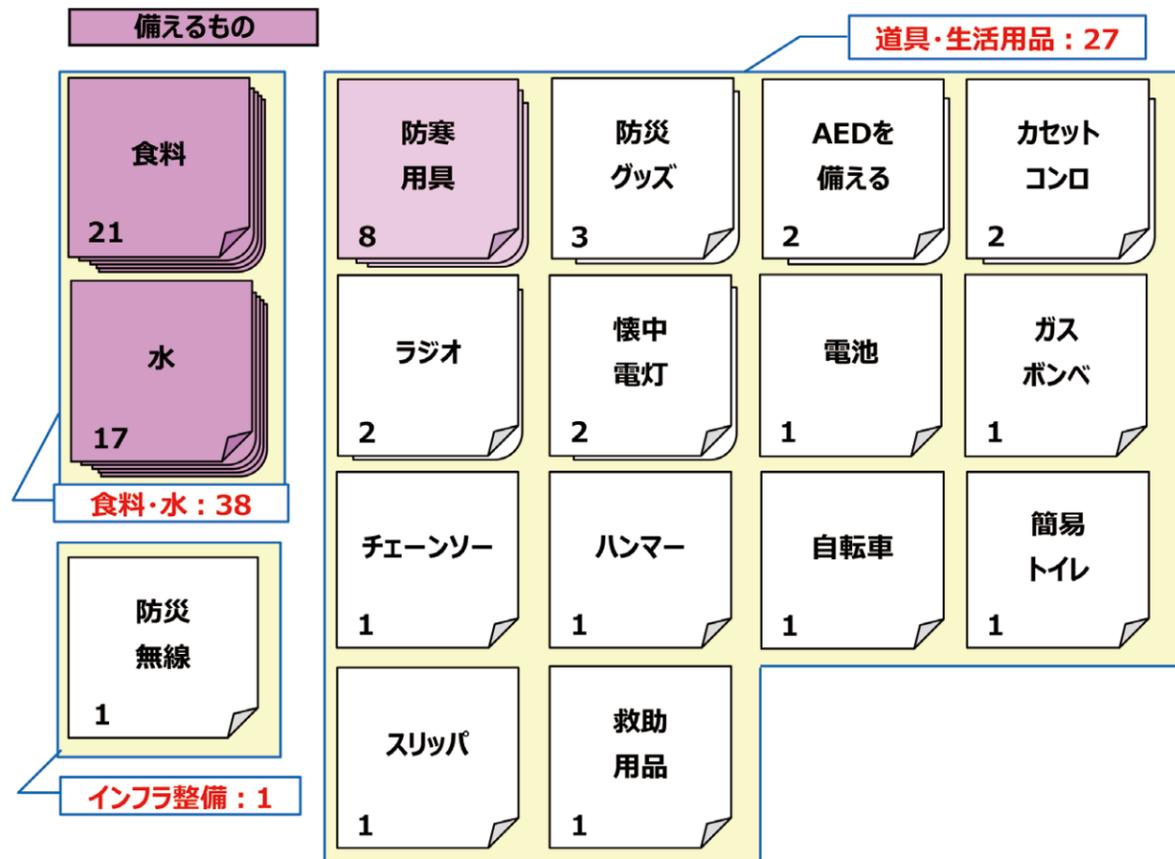
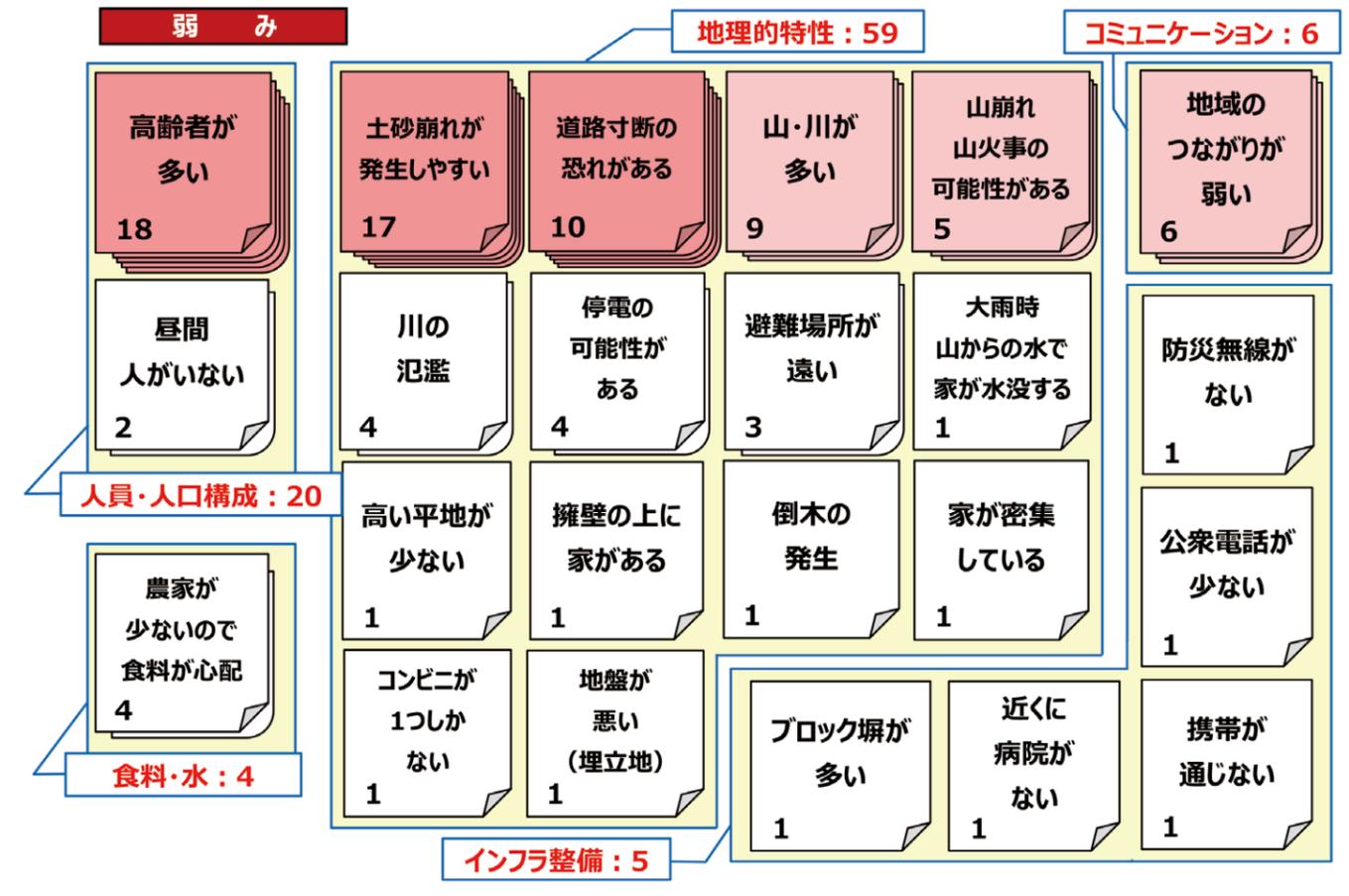
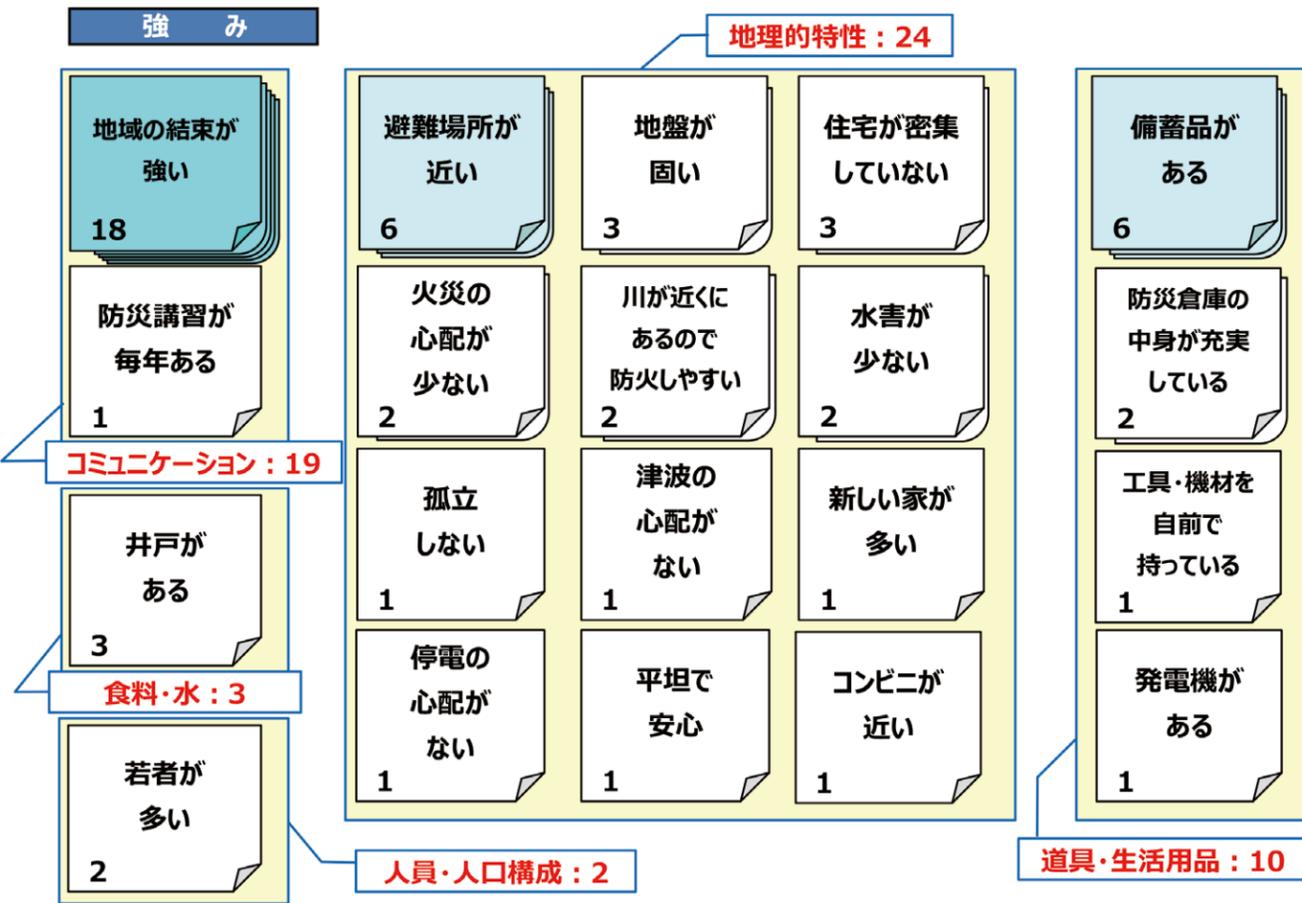
土石流		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩壊		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域

出典：愛知県土砂災害情報マップ
 土砂災害情報についての問合せ先：愛知県建設部砂防課
 企画・防災グループ
 ・警戒区域等は平成30年5月現在の情報です
 ・事後の基礎調査によって警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります

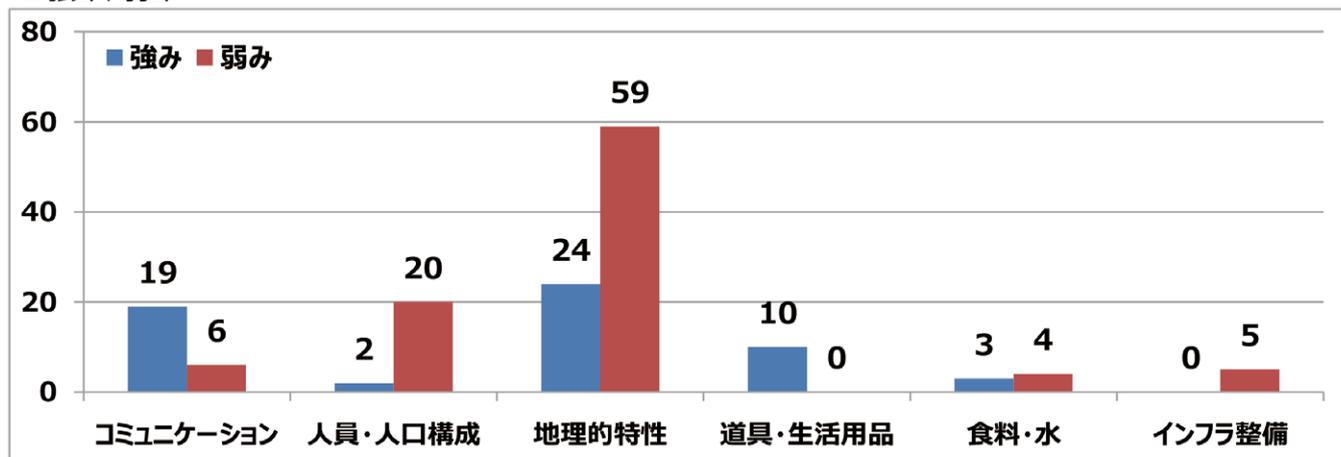
	緊急避難場所 切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所
	自主避難場所 自治区（自主防災会）が選定した災害時、一時的に避難等に使用する場所 (平成31年2月1日現在)

「この地図は、豊田市長の承認を得て、1/2,500豊田市基本図を使用し調製したものです。(承認番号 豊都計発第913号)」

縮尺 1:12,000



■ 強み、弱み



地理的特性について、避難場所が近い、地盤が固い点などは強みだが、土砂崩れが発生しやすい、道路寸断の恐れがあるといった点で弱みと感じている人が多い。

また、地域の結束が強いというコミュニケーションに強みを感じている反面、高齢者が多い、昼間人がいないという人員・人口構成に弱みを感じている人もいる。

■ 備えるもの、やるべき対策

項目種類	項目	具体意見	意見数
備えるもの	道具・生活用品	防寒用具、防災グッズ	27
	食料・水	食料、水	38
	インフラ整備	防災無線	1
やるべき対策	家族でできる対策	家族との話し合い、転倒防止対策	25
	地域で行う対策	住民とのコミュニケーションをとる	14
	行政の協力が必要な対策	道路の整備、防災無線の設置	9

備えるもの

- ・ 自治区に非常食を備えておく。
- ・ 各家庭でも水や非常食を備蓄しておく。
- ・ 防寒用具を備えておく。
- ・ 防災グッズや救助用品を揃えておく必要がある。
- ・ 移動手段として自転車も必要。
- ・ カセットコンロやガスボンベを備えておく。

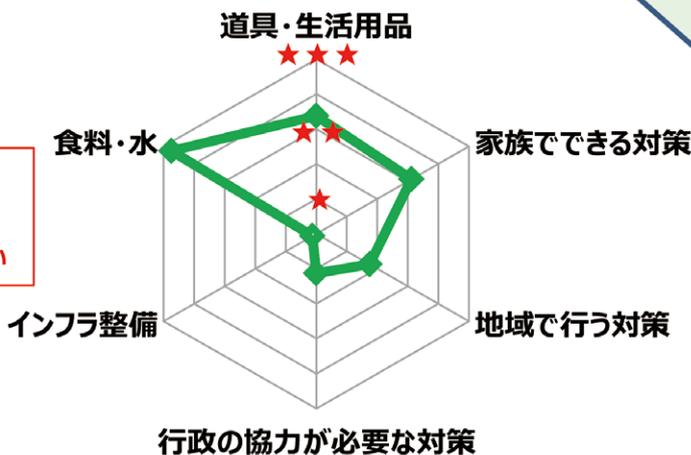
やるべき対策

- ・ 家族との話し合いをしておく。
- ・ もっと住民とコミュニケーションをとる。
- ・ 避難経路の再確認を家族単位・地域ごとに行っていく。
- ・ 家具等の転倒防止対策をする。
- ・ 家の耐震対策を行う。
- ・ 連絡網の整備や避難場所の確認をする。
- ・ 防災訓練・夜間訓練をする。



重要だと考える人

★★★ ★★ ★
多い ⇔ 少ない



【ワークショップ開催概要】

松平地区の住民意識を高め、各家庭での災害対策を進めてもらうと共に住民自らが主体的に地域の災害対策や災害発生時の対応を進めてもらうため小学校区ごとに防災ワークショップを開催しました。

【開催の目的】

次年度の自治区ごとの防災計画作成に必要なデータを防災カルテに集約すること

【実施日・参加者】

自治区名	実施日・時間	場所	参加人数	グループ数
中垣内町・桂野町・加茂川町	2018/12/16(日) 14:00~	九久平小学校	51人	8グループ
九久平・大内	2019/2/2(土) 09:30~	九久平小学校	36人	7グループ
鶉ヶ瀬町・鍋田・玉滝	2019/2/2(土) 13:30~	九久平小学校	38人	8グループ

【実施内容】

1

1 レクチャー

災害時の動画と写真を見る



風水害

地震

2

2 ワーク

松平地域の中で起こりそうな被害を地図に書き込む



起こりそうな被害を、地図にかきこむ

風水害

- ・被害の危険がある場所を ● シールでマーキングする
- ・過去に被害が発生した場所を ● シールでマーキングする
- ・被害の内容を地図に記入する

地図に直接書く！



- 増水・濁流の発生
- 道路・宅地・農地の冠水
- 河川・水路から水が溢れる
- 道路の通行不能、トンネル等の閉塞
- 土砂や流木等により河川・水路が塞がる
- 落橋・橋梁の流失
- 泥水・土砂の浸入、家屋の浸水
- 水防施設の機能不全・故障
- 強風による倒木や家屋の破損、飛来物
- 土砂くずれの発生
- 崖くずれ・地すべりの発生

起こりそうな被害を、地図にかきこむ

地震

- ・被害の危険がある場所を ● シールでマーキングする
- ・過去に被害が発生した場所を ● シールでマーキングする
- ・被害の内容を地図に記入する

地図に直接書く！



- ブロック塀や石垣の崩落
- 看板や自動販売機の転倒・倒壊
- 道路陥没・地割れの発生
- 古い住宅が多い（家屋倒壊の危険）
- 木造住宅が密集（出火・延焼の危険）
- 可燃物・燃料タンク等の火災リスク
- 土砂くずれの発生
- 崖くずれ・地すべりの発生

3

3 まとめ

地域の強み、弱み、必要な備え、取組みを考える



4

4 発表

地域の強み、弱み、必要な備え、取組みを皆で共有する



15

【ワークショップの様子】

ワークショップ① 風水害

風水害に関するレクチャー



風水害ワーク（危険箇所・過去被害書出し）



ワークショップ② 地震

地震災害に関するレクチャー



地震災害ワーク（危険箇所・過去被害書出し）



グループワークのまとめ



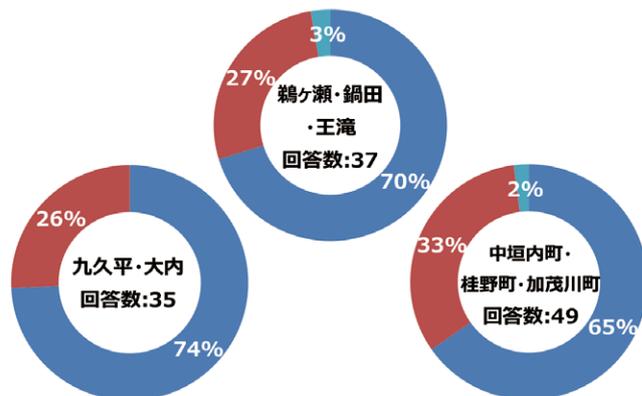
グループごとの発表



松平地区の防災ワークショップに参加された方にアンケートにご協力いただきました。

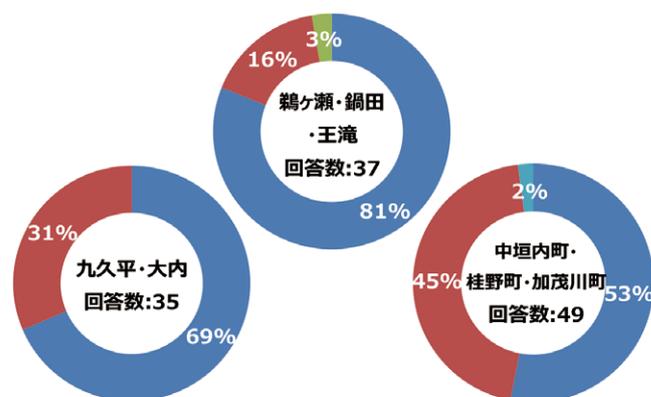
「本日の防災ワークショップに参加して、防災への意識は高まりましたか？」〔択一回答〕

- ① そう思う
- ② どちらかと言えばそう思う
- ③ どちらかと言えばそう思わない
- ④ そう思わない
- 無回答



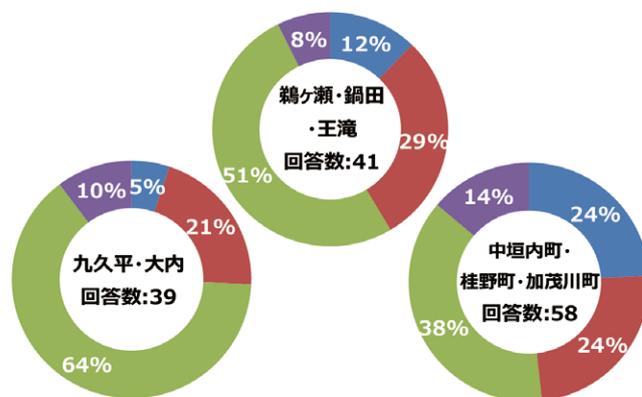
「本日の防災ワークショップの内容は分かりやすかったですか？」〔択一回答〕

- ① そう思う
- ② どちらかと言えばそう思う
- ③ どちらかと言えばそう思わない
- ④ そう思わない
- 無回答



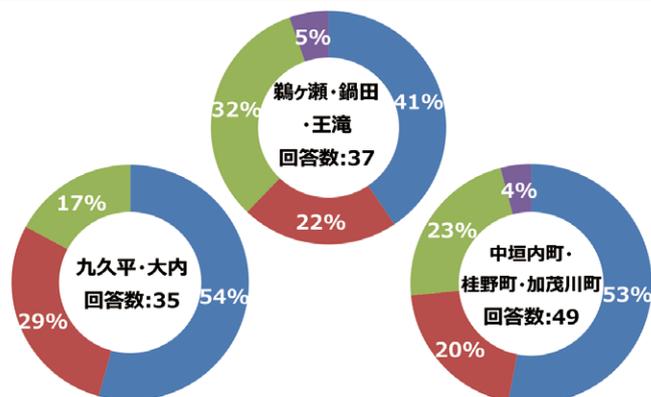
「防災意識を高めるために、今後自治区等でどのようなことを実施してみたいですか？」〔複数回答可〕

- ① 夜間に行く、訓練
- ② HUG（避難所運営ゲーム）
- ③ 自分で避難することが難しい方への支援対策
- ④ その他



「緊急メールとよた」は登録いただいたメールアドレスに緊急情報や気象情報を豊田市が配信するサービスですが、ご存知ですか？」〔択一回答〕

- ① 既に登録している
- ② 知っているが登録していない
- ③ 知らない
- 無回答



【松平防災ワークショップ 参加者の意見・感想】

- ワークショップを通じて防災の意識がより強くなった。
- 川を挟んで避難場所があり、橋が渡れるかどうかの連絡、表示ができるといいと思う。
- 今回の様子（内容）を地域の方々へ上手く伝達する方法があると良い。
- 今回はいつもよりリアルな被害をイメージできたので、より一層備えたい。
- 高齢者はメール登録等が出来ない人が多いと思う。何かやり方等の指導があれば良いと思う。
- 多くの住民が意識を高めることが大切だと思った。
- 当地区は土砂崩れで集落が孤立する。対策を皆で考えたい。時々はこういう会を開くと良いと思う。
- 地域の危険区域が再確認できた。



【家族の決め事】

避難場所や避難所	
避難ルート (気をつけることなど)	
その他 (家族が離ればなれになった場合)	

【緊急時の連絡網】

名前	携帯電話	連絡先(勤務先や学校等)	メールアドレス(携帯電話等)

